



出水市立下水流小学校学校だより

キャッチフレーズ

# 下水流小だより

『花と笑顔と

読書の下水流小』



令和5年1月26日 第10号 校長 井手口 勉

## 次学年への0学期

校長 井手口 勉

1月10日(火)、下水流小学校の3学期がスタートしました。始業式では、3年生の中村海愛さん、6年生の特手颯大さんが冬休みの生活の様子や3学期にがんばることを立派に発表しました。そしてわたしは次のような話をしました。

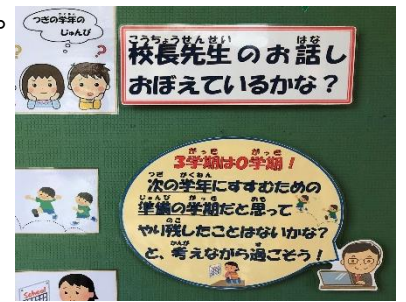


3学期は学校に来る日が53日(5年生は54日)なので1日1日が大切です。ゆっくりしている暇はありません。スタートダッシュが大切です。そして、3学期は今の学年をまとめる学期であると同時に、次学年への0学期とも言える大事な学期です。だから、「明日やろう」「後でやろう」と思っているとあっという間に日が過ぎてしまっていて、できるようになることが少なくなったり、友達と楽しく過ごしたりすることができなくなってしまう。2人の友達が発表してくれたすばらしい目標のようにみなさんも先生と一緒にしっかり目標を立てて明日からがんばってほしいです。わたしも目標をもってがんばります。

学校では3学期も、これまで同様、子供たちに力をつけることを目標に全職員で力をあわせてがんばってまいります。子供たちにとって次学年への0学期が充実したものになるよう保護者・地域の皆様、今年もご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

右は、保健室前の掲示板の写真です。この掲示内容は、何を掲示しようという話題になったとき、ある子供が「校長先生が言った0学期のことにすれば」と提案してくれ、養護教諭が準備してくれたものです。

いつも子供たちの心に何か一つでも感じてもらえることがあればと考え、話をするよう心がけています。子供たちはしっかり話を聴き、考えているのだとあらためて感心させられました。



## 130周年を記念して ~イルミネーション設置~

令和5年に入り、南日本新聞で下水流小学校の130周年に関連した記事がありました。

一つは、12月の花植えに参加した児童の作文です。「『花と笑顔と読書の下水流小』。学校のいいところがぎゅっとなつまったキャッチフレーズだ。一緒に植えた花で(130周年を)お祝いできてよかった。植えた花を見て、みんなが笑顔になる学校にしていきたいと思った。」という文章にこれからはますます下水流小学校を盛り上げていきたいという気持ちが伝わってくる素敵な作文でした。もう一つは、「創立130周年イルミ飾り祝う」の記事(写真は新聞に掲載されたもの)。下小応援隊が、旧正門付近を四千個のLED電球で飾ってくださいました。「祝130周年」の文字も輝いています。ご覧になっていない方は是非、実物をご覧ください。

今後も学校・保護者・地域が一体となって下水流小学校を盛り上げていきたいと思います。



2月の行事予定です。変更の可能性もございます。後日配布される案内や通信等で詳細をご確認ください。



- 2日(木) 入学説明会・体験入学
- 7日(火) クラブ活動(3年生見学)
- 9日(木) 出水っ子学力向上推進大会
- 10日(金)~16日(木) 家庭学習強調週間
- 11日(土) 【祝】建国記念の日
- 15日(水) お茶とのふれあい事業(5年生)

- 23日(木) 【祝】天皇誕生日
- 24日(金) 授業参観・学級 PTA PTA 専門部会(反省等)
- 25日(土) 生涯学習・福祉 ボランティアフェスタ
- 26日(日) 出水市少年少女 合唱団定期演奏会



## 「いつでも」「どこでも」起こりうるからこそ ～いじめ防止に向けて～

すべての子供たちにとって、学校生活が楽しく、有意義なものになってほしい・・・児童や保護者、学校職員、地域の方々すべての願いです。しかし、人との関わりが未熟な子供たちにとっては、さまざまなきっかけにより、トラブルが発生してしまうことがあります。このようなトラブルを未然に防止することや起きてしまったトラブルに対して素早く対応することを心がけながら、日々の教育活動を行っています。

下水流小学校は、鹿児島県の「いじめ対策プロジェクト」の指定を受け、いじめ防止に向けた取組を実践しています。学校での取組を知っていただき、子供たちへの関わりの参考にいただければ幸いです。

=下水流小学校の児童の課題=

- △ 自分の思いや気持ちをうまく伝えられない
- △ 気持ちをうまくコントロールできない
- △ すぐに諦める(できないと決めつけてしまう)
- △ 自分に自信がもてない(自己肯定感が低い)

=こんな行動でトラブルに=  
友達の何気ない一言で・・・  
冗談のつもりで・・・  
うまくできなくてイライラして・・・



このような現状を考えて、下水流小では、

自分のよさ、友達のよさを認め合う場を大切に、安心して学校生活が送れるように、いじめ防止につながる集団づくり、学習活動づくりを行う

「わかった」「できた」「楽しい」と実感できるような授業や活動



児童の頑張りや成果を認める・褒める



いじめ防止につながるような学習(例えば道徳)のやり方を工夫して、「いじめはしない」という気持ちを育てる

(授業野中で)

- ・「なぜ」や「どんな気持ちか」など考える
- ・「こんなときどうする」といった具体的な場面をもとに考える
- ・友達の気持ちや考えを受け止める



いじめとはどういうものか、「いじめ防止対策推進法」という法律で書かれていることを分かりやすく述べると「悪口や暴力、仲間はずし、金品の要求やネットの書き込み等で、その子が心身の苦痛を感じているもの」とされています。友達との関わりの中で生まれる些細なやりとりの中で、「嫌だな」と思うことは少なくありませんが、「いじめ」ととらえます。小さな出来事が、深刻ないじめにつながらないように、下水流小では、

月1回のいじめアンケートを実施

友達から言われたことやされたことで嫌な思いをしたことがあったか。



アンケートの訴えについては、聞き取りを実施

- ・被害者はもちろん、加害者への聞き取りを実施し、状況を確認する。
- ・理由はどうであれ、「いじめは絶対に許されない」ことを伝える。
- ・被害者、加害者の思いを十分に聞き取り、何がいけなかったのか、これからどうすればよいかなど話し合う。
- ・(必要に応じて)保護者に状況を説明する。



いじめについては、アンケートだけでなく、日記や子供たちの普段の様子や訴えなどからも把握に努めています。けんかやふざけあいのように、「これはいじめとは言わないのでは・・・」と思われるようなことであっても、当事者が嫌な思いをしている状況が生まれれば「いじめ」と捉えて、丁寧に対応するようにしています。いじめが、「いつでも」「どこでも」起こりうるという危機感をもって対応に当たることが、いじめの防止や早期対応につながると考えます。

(学校からのお願い) 相手の立場に立って考えたり、自分の思いをうまく伝えられなかったりすることを学んでいる最中の子供たちです。学校や地域で悩むことが出てきた場合には、その子の思いを十分に受けとめてあげるとともに、相手の思いやその対処の方法と一緒に考えてもらえるとありがたいです。



学校での対応等についてお聞きになりたいときは、学校(82-0039)までご連絡ください。